



IX Knowledge Inc.

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月31日

アイエックス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



目次

当社を取り巻く環境と業績概要

2022年3月期 業績

今後の取り組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

当社を取り巻く環境と業績概要

2022年3月期 業績

今後の取り組み

<コロナ禍への対応>

コロナ禍で加速した 「DX」 「働き方改革」

「DX」「働き方改革」が加速する中での当社対応

●DX（デジタル化）の推進

- ・クラウドネイティブ人材の育成による顧客のデジタル化に対応
- ・基幹システム更改（ワークフローシステムを更改）等の社内デジタル化推進

●採用・教育面でのオンライン化

- ・完全オンライン採用の実施

●働き方改革の推進

- ・在宅勤務、時差出勤、オフィスカジュアル
- ・Web会議ツールの活用によりフレキシブルなコミュニケーションへ
- ・即戦力人材獲得に向けた新たな制度の導入（おかえりなさい制度）

社会変化への対応 継続

トピックス

2022年3月期 トピックス

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・組織再編 ・新入社員84名入社 ・オフィスカジュアル導入 ・大手エネルギー会社様1社から感謝状 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新市場区分「スタンダード市場」選択 ・通信事業会社様1社から感謝状
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・大手ベンダー様1社から表彰 ・大手ベンダー様1社から2セグメントにてパートナー認定 ・情報システム会社様1社から表彰 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・「IKIのSDGs宣言」公開
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム会社様1社からパートナー認定 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「AWS 100 APN Certification Distinction」認定
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式の取得開始（2021年8月2日から2021年12月22日まで） ・新型コロナウイルスワクチン職域接種の実施 ・情報通信事業者様1社から表彰 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTデータイントラマートとパートナー契約締結 ・大手ベンダー様1社から表彰
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「テレワークご支援キャンペーン」実施 ・Ocean to Table Council 魚のトレーサビリティ実証事業「江戸前フィッシュパスポートフェア」開催 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済新聞一面広告出稿 （3月16日付け、3月22日付け） ・健康優良企業「金の認定」継続取得

※その他、積極的にセミナーを開催（社外向けセミナー開催7回、社内向けセミナー開催1回、他社セミナー登壇2回）

トピックス <ピックアップ>

● IKIのSDGs宣言（2021.11）

- ✓ 「3つの社会の実現への貢献」に継続的に取り組む

平和と公正な社会

すべての人が生き生きと
活躍できる社会

豊かで持続可能な社会

● クラウドネイティブ人材の育成推進（2021.12）

- ✓ 「AWS 100 APN Certification Distinction」認定

※アマゾン ウェブ サービス認定資格取得数が 100 を超える企業が認定される

● 2022年度 新市場区分「スタンダード市場」へ

2022年3月期 業績概要（1）

【売上高】 18,541百万円（前年同期比7.2%増）

主力事業のシステム開発・システム検証、システム運用・基盤環境構築案件に加え、コンサル案件の拡大により増収

● 売上への影響要因

◆ コンサル・システム開発サービスの売上増加（↑）

- ✓ 食品商社におけるコンサル案件の拡大
- ✓ システム開発案件の増加

- ・大手通信事業者向け開発案件、システム検証案件
- ・資産運用事業者向けシステム開発案件

◆ システム運用、基盤・環境構築売上増加（↑）

- ✓ 社会・公共サービス系システム案件の増加

2022年3月期 業績概要 (2)

【営業利益】1,149百万円（前年同期比32.3%増）

売上高増加に加え、原価率の低減や販管費の抑制が寄与し、増益

● 営業利益への影響要因

- ✓ 売上高の増加
- ✓ 技術者育成による単価向上、
適正な原価管理による原価率の低減
- ✓ 働き方改革・社内デジタル化への取り組み継続による
販管費の抑制

2. 2022年3月期業績

当社を取り巻く環境と業績概要

2022年3月期 業績

今後の取り組み

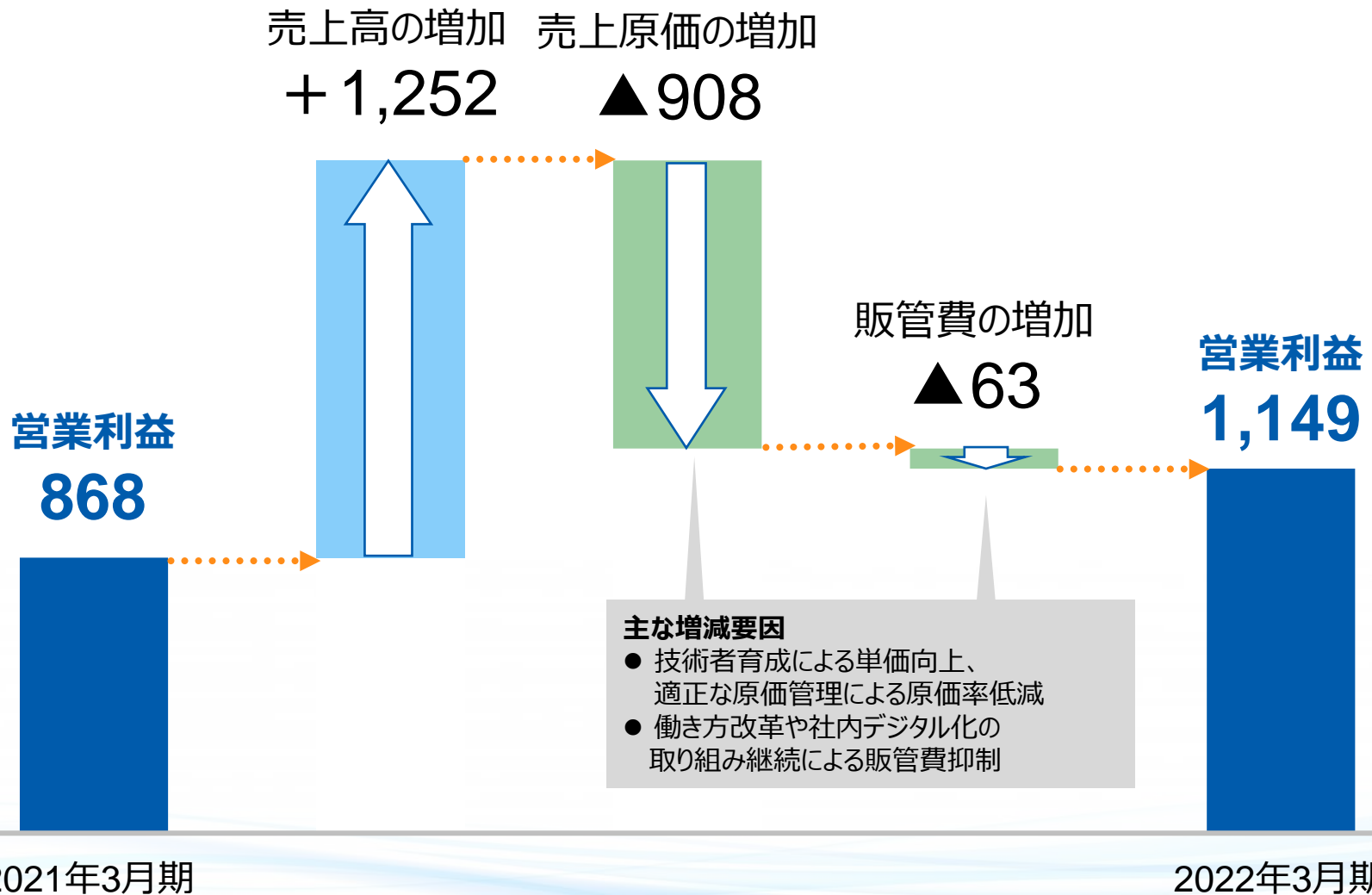
2022年3月期 経営成績

(単位：百万円)

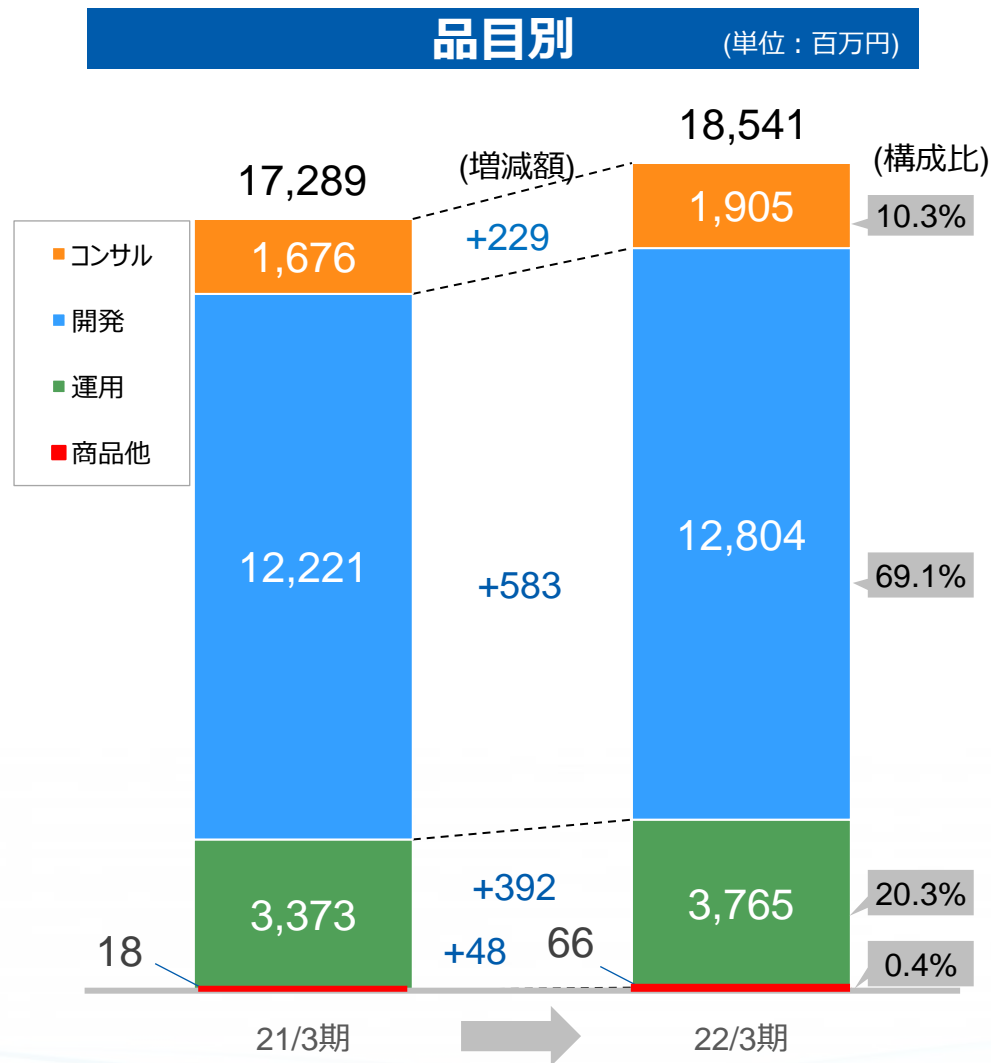
	2022年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	18,541	17,289	7.2%
売上原価	14,978	14,070	6.5%
売上総利益	3,563	3,219	10.7%
売上総利益率	19.2%	18.6%	—
販管費	2,413	2,350	2.7%
営業利益	1,149	868	32.3%
経常利益	1,233	923	33.6%
当期純利益	848	630	34.6%
配当金	20円	15円	—

営業利益の変動要因

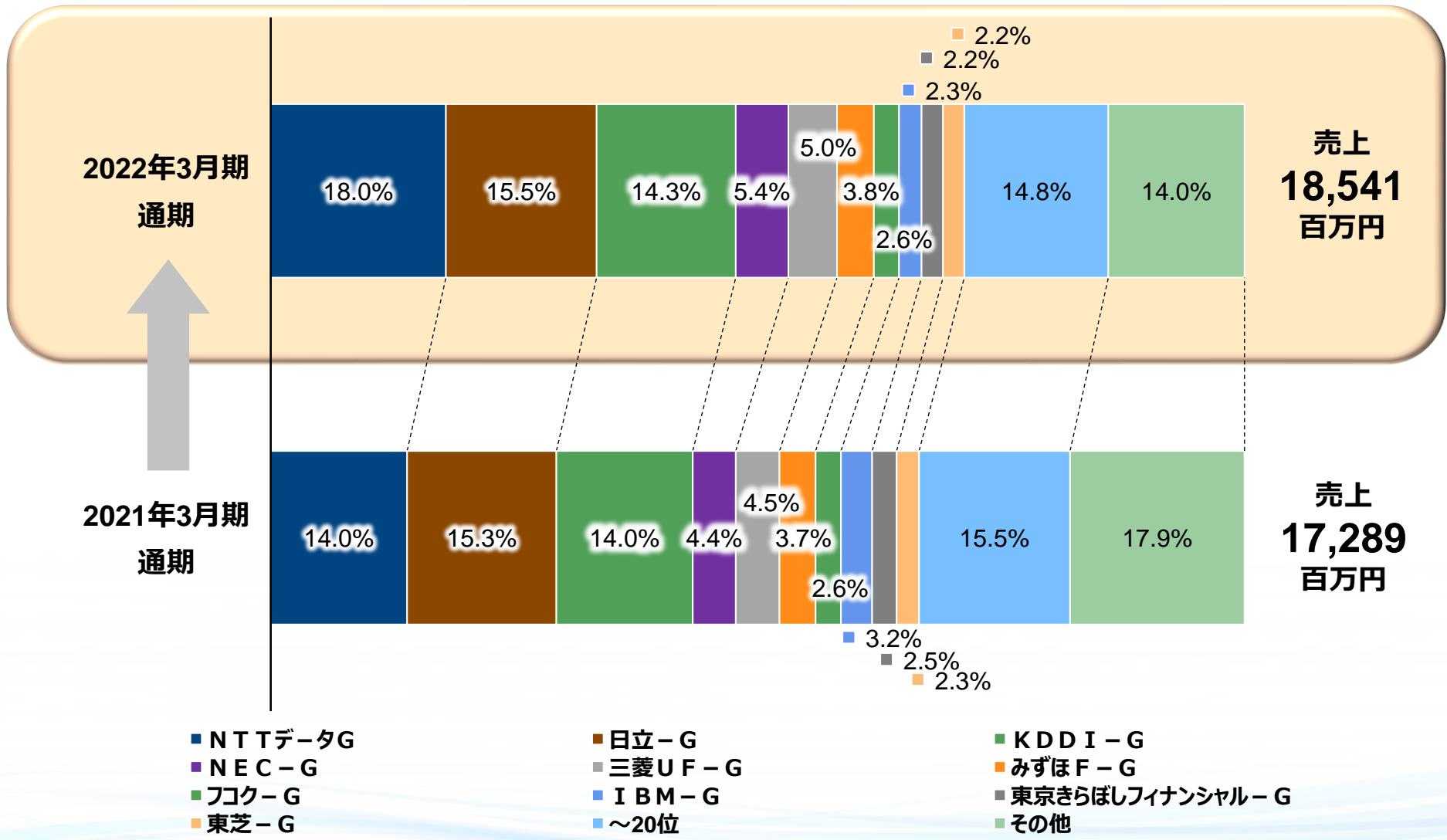
(単位：百万円)



品目別売上構成



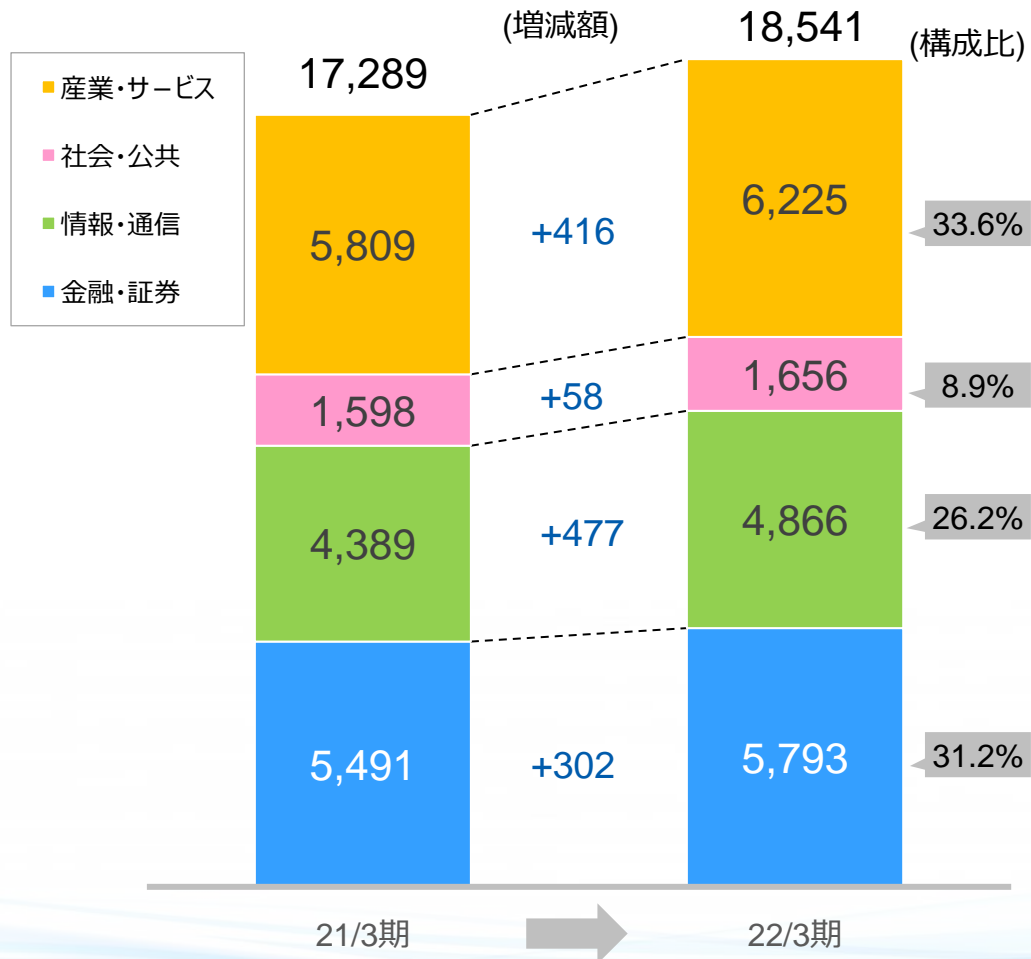
契約先顧客グループ別売上構成



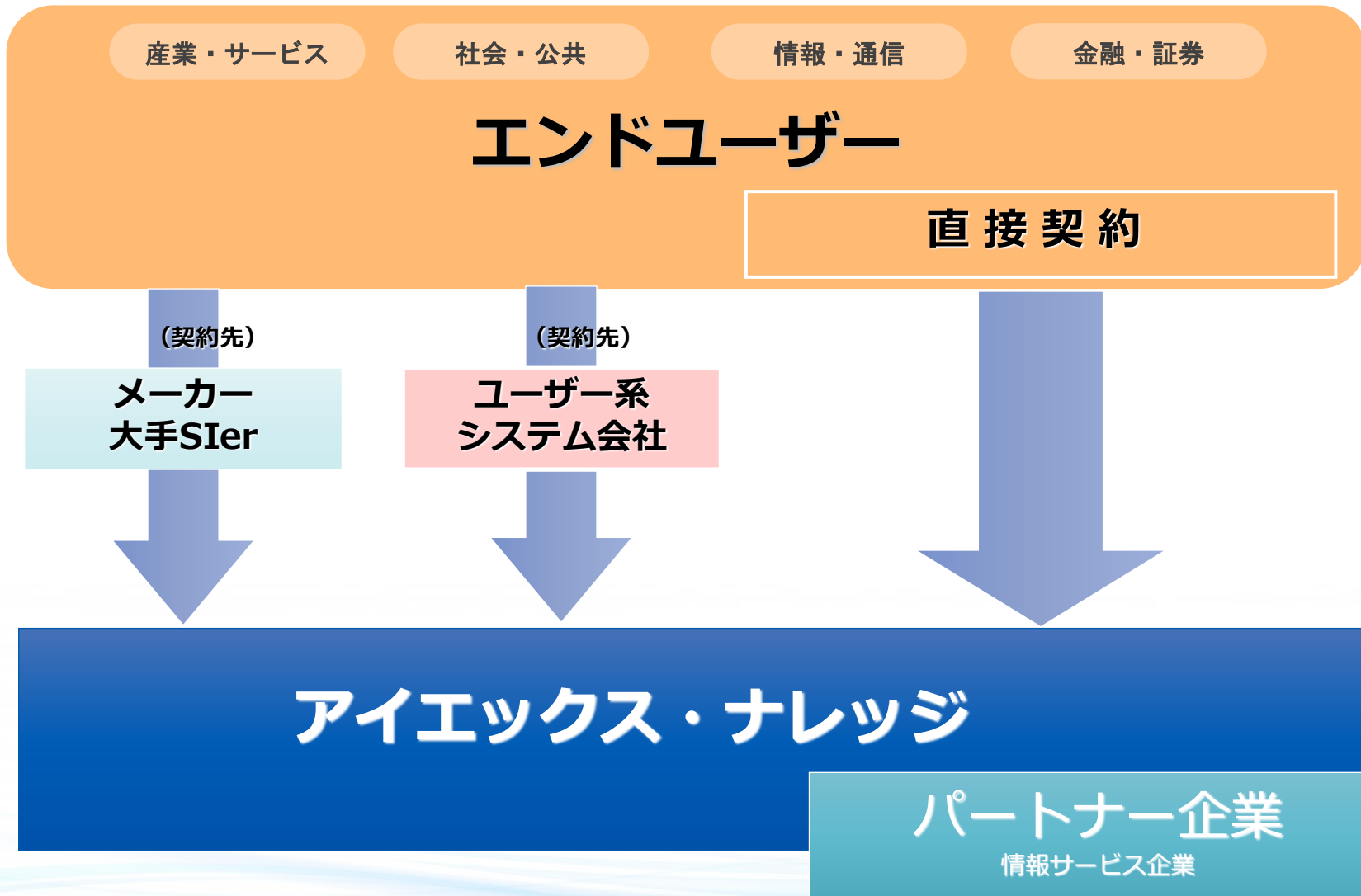
- NTTデータG
- 日立-G
- KDDI-G
- NEC-G
- 三菱UF-G
- みずほF-G
- フコク-G
- IBM-G
- 東京きらぼしフィナンシャル-G
- 東芝-G
- ~20位
- その他

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別 (単位：百万円)



(参考) 当社のビジネス構造

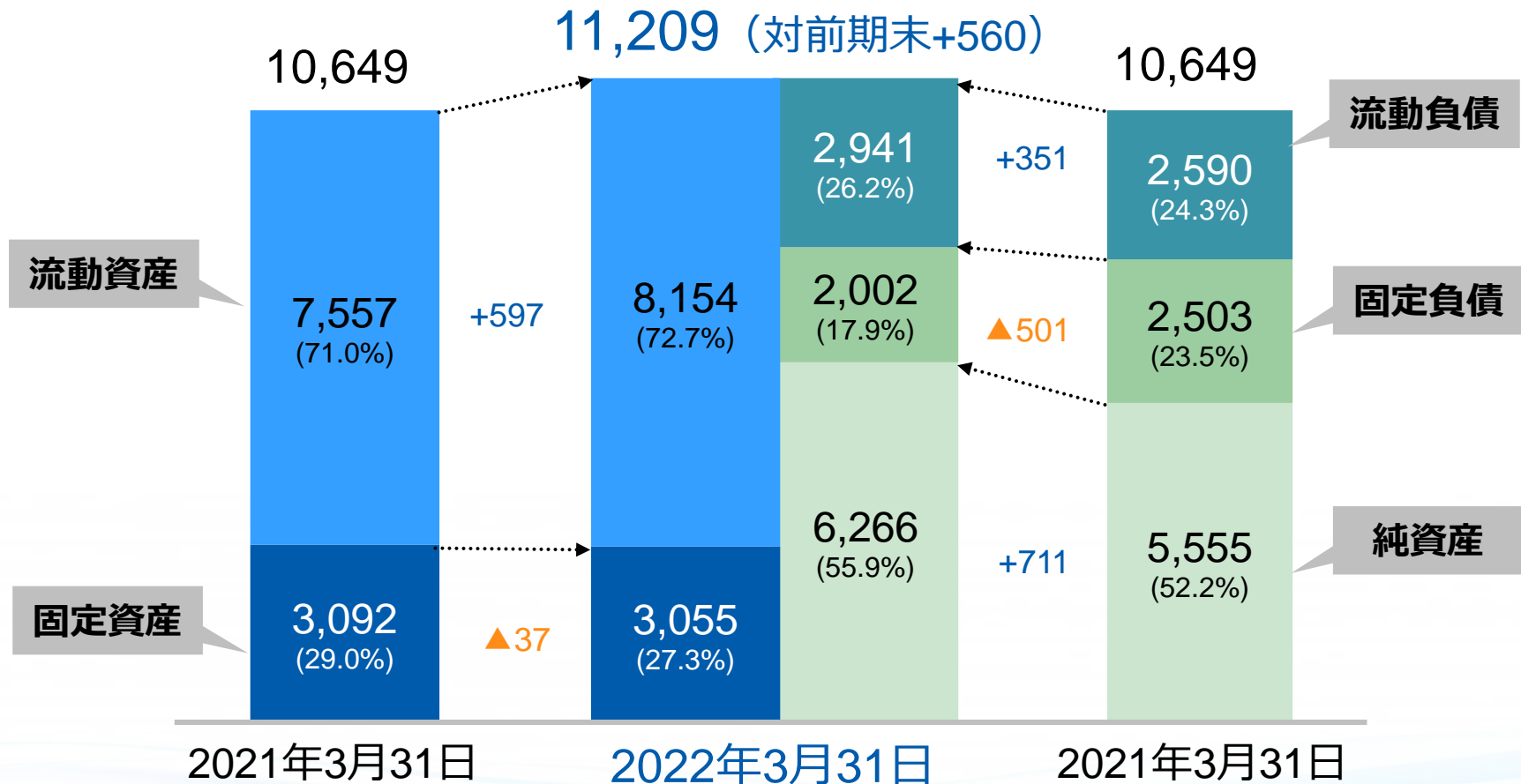


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

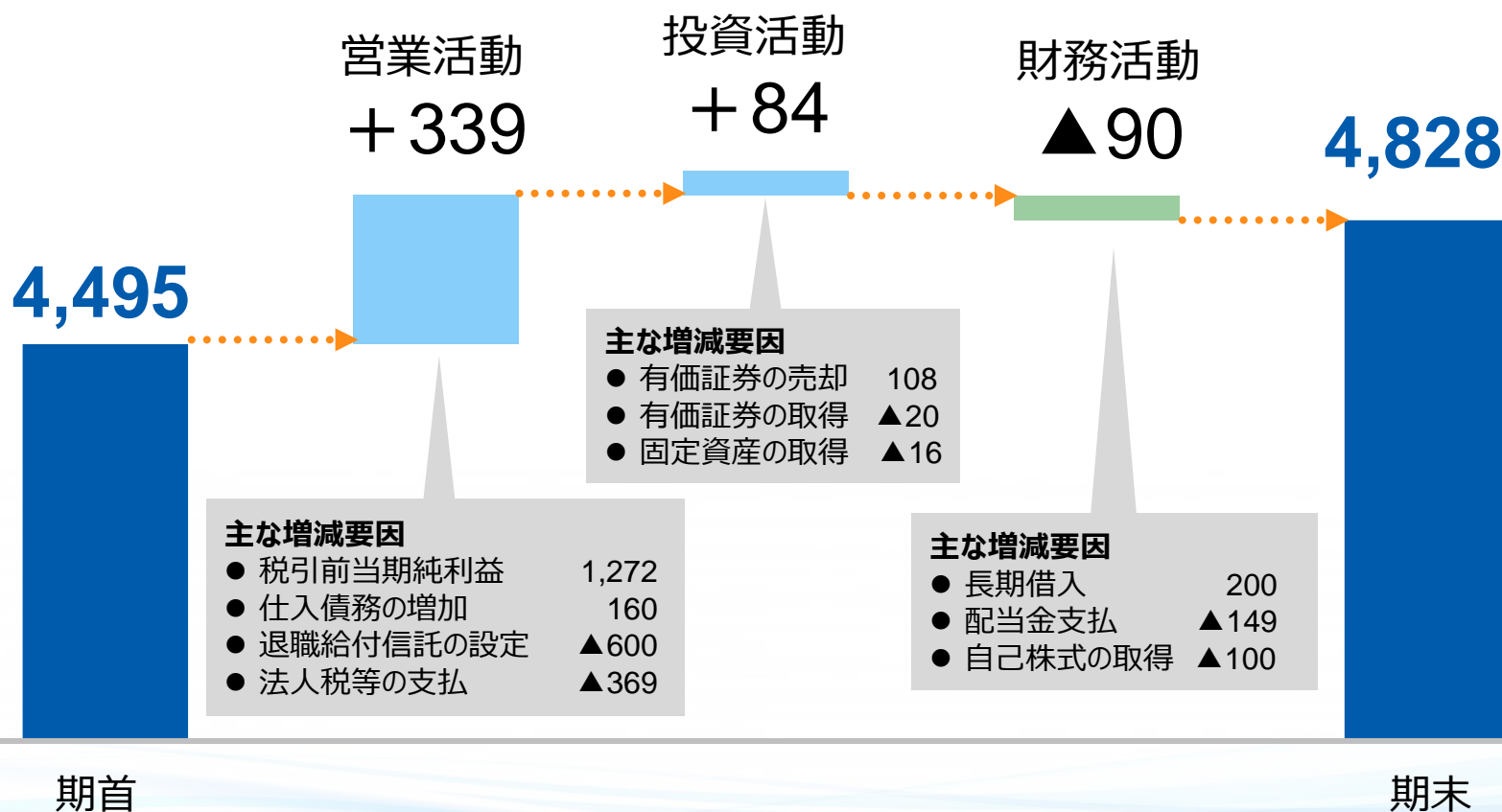
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：百万円)



3. 今後の取り組み

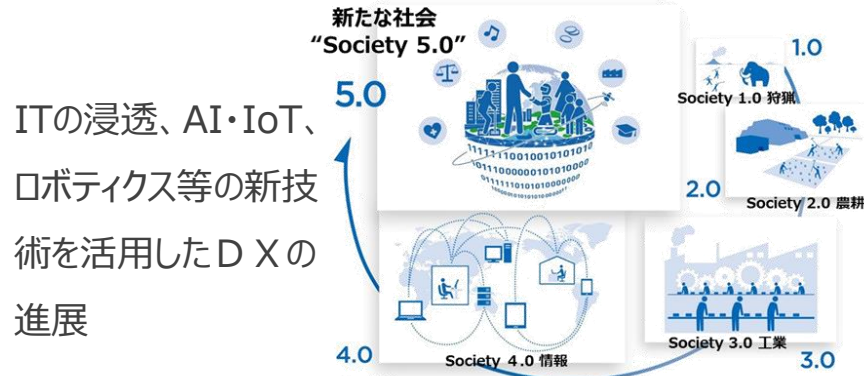
当社を取り巻く環境と業績概要

2022年3月期 業績

今後の取り組み

市場環境とそれに対する当社の取り組み

情報社会（4.0）からSociety5.0の社会へ



出典：内閣府ホームページ

(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

コロナ禍がもたらした社会変化

新しい生活様式、
ビジネススタイル、
新しい価値観の
定着



出典：photoAC

<DXの加速>

社会活動・企業活動
様々な分野でDX推進

<働き方改革の加速>

テレワーク、Web会議
ペーパーレス等

当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

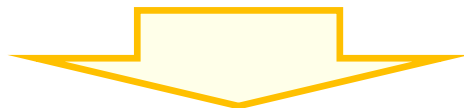
当社の取り組み ～中期経営計画～

【企業理念】

私たちは情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する

【ビジョン】

しっかりとしたモノ（システム）づくりと高品質のサービスを提供する
すべてのステークホルダーから選ばれる企業になる



【中期経営方針】 5～10年後を見据えた経営方針

- ①中核事業の拡大 ②次期成長事業の創出 ③事業基盤の強化



【中期経営計画】3ヶ年のローリング方式

中期経営計画で目指すもの <中期経営方針3本柱>

ケーパビリティの拡大からお客様との「共創」へ

ケーパビリティの拡大

新技術 ⇒ デジタル化 ⇒ ビジネス創出 への対応

「システム開発」事業拡大

システム開発
中心SIer

プロフェッショナル人財育成

M&A検討

財務基盤強化

次期成長事業

インフラ構築
を含めた
インテグレーター

財務・人財・技術基盤

「基盤構築」事業拡大

AWS構築技術者育成

Azure構築案件

中核事業

ブロックチェーン技術

AI技術

サービス
提供型
インテグレーター

Cloud開発技術者育成

Microsoftビジネスの検討

ERPビジネスの検討



共創

お客様の
ビジネス変革
ビジネス創出
に貢献

中期経営計画で目指すもの <SDGs>

事業を通じて社会貢献していくことで、企業価値の維持向上を目指し、お客様との共創のもと、未来を創造してまいります。

IKIのSDGs宣言

アイエックス・ナレッジ株式会社は、“情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する”という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を経営課題の一つと捉え、全社一丸となって推進する事業活動を通じて、その達成に向け積極的に貢献してまいります。



SDGs取り組み方針

当社は、企業理念と行動指針に基づき、持続的成長と企業価値の向上に努め、「平和と公正な社会」「すべての人が生き生きと活躍できる社会」「豊かで持続可能な社会」という3つの社会の実現に貢献できるよう、以下の取り組みを推進してまいります。

1. 平和と公正な社会の実現に貢献 ～公平で平等な企業活動の推進～
2. すべての人が生き生きと活躍できる社会の実現に貢献 ～人材育成や女性活躍の推進～
3. 豊かで持続可能な社会の実現に貢献 ～ITを活用した付加価値の創出～

継続的な貢献へ

2023年3月期 取り組みポイント①

「持続的成長」を可能とする礎作り

営業体制

- **営業体制の強化**
 - ・チーム活動、提案型営業による攻めの営業体制へシフトチェンジ
 - ・戦略的営業活動の実施（クロスセル強化、営業KPIの計画化）
 - ・顧客ファーストの意識醸成

開発体制

- **厳正な開発管理と新技術対応強化**
 - ・プロジェクトモニタリング ・原価管理徹底
 - ・開発要員の戦略的な適正稼働率維持
 - ・新技術（DX）に向けた開発体制整備

案件対応力

- **パートナー企業と共に案件対応力強化**
 - ・案件分野別にパートナー企業のカテゴライズ
（パートナー対応力のアセスメントと重点対応分野の明確化）
 - ・新技術に対応した人材教育

2023年3月期 取り組みポイント②

「持続的成長」を可能とする礎作り

DX化 対応

- **DX化ニーズへの対応**
 - ・クラウド構築からクラウド開発への対応（AWS・Azure）
 - ・クラウドベースサービスへの対応
（ERPビジネスの立上げと周辺サービスのビジネス化）
 - ・次期成長へのビジネスイノベーション（ビジネスイノベーション室新設）
 - ・ブロックチェーン、クラウド基盤構築及びアジャイル開発の更なる強化
 - ・新たな技術分野への取組み

事業基盤 強化

- **中長期を見据えた積極的な投資活動へ**
 - ・PM育成、新技術習得などの人材育成
 - ・新卒、中途採用の強化による技術者確保
 - ・デジタル化投資、DX基盤の整備
 - ・成長のスピードアップとケーパビリティ拡大（事業提携・M&A）

2023年3月期 取り組みポイント <ピックアップ>

● クラウドネイティブ人材の育成

- ・計画的な人材育成 ⇒ お客様のDX化、ビジネス成長に貢献

● SDGsの取り組み推進

- ・「IKIのSDGs宣言」 ⇒ 3つの社会の実現に貢献

平和と公正な社会



すべての人が生き生きと
活躍できる社会



豊かで持続可能な社会



● 積極的な事業投資

- ・事業提携、M&Aの推進 ⇒ 人的リソース拡大、サービス領域拡大

2023年3月期 業績予想

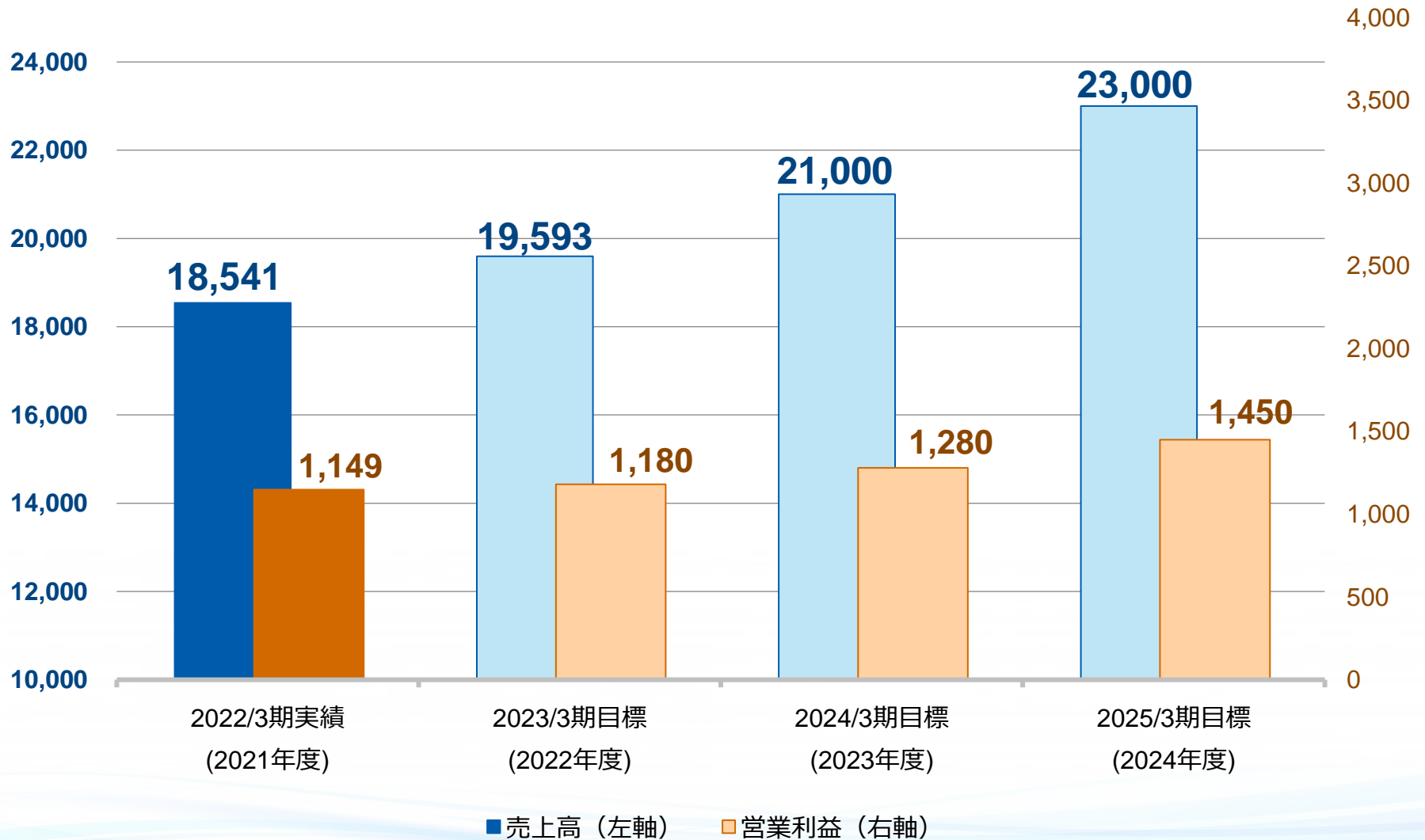
(単位：百万円)

	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減率
売上高	19,593	18,541	5.7%
売上原価	15,716	14,978	4.9%
売上総利益	3,877	3,563	8.8%
売上総利益率	19.8%	19.2%	—
販管費	2,696	2,413	11.7%
営業利益	1,180	1,149	2.7%
経常利益	1,220	1,233	▲1.0%
当期純利益	834	848	▲1.7%
配当金	20円	20円	—

※新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

中期業績目標

(単位：百万円)



※新型コロナウイルスの状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。



IX Knowledge Inc.

「共創 by DX」

DXの流れに乗って社内外の共創を推進し市場“競争”に打ち勝つ

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 総務部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>